

昭和 47 年 2 月 1 日

横芝町の人口と世帯

<12月31日 現在>

人 口	12,557 人
男	6,015 人
女	6,542 人
世 帯 数	2,996



広報

横芝

発行所

山武郡横芝町横芝636番地  
横芝町役場  
電話 04798-2-1111(代)  
郵便番号 289-17

快晴に恵まれた

町消防出初式

新春恒例の町消防出初式のもとに団員三百余名が参加し、一月八日横中校庭において集、ラッパ隊の吹奏とともに団旗が入場し、一同は国旗掲揚台に向けて整列、厳粛なう



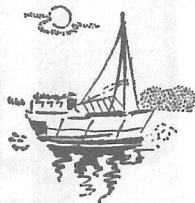
ちに国旗の掲揚が行なわれ、内はいよいよ緊張の度をまじらせた。県知事代理をはじめ関係各機関、団体の来賓多数臨席のもとに式はとどこおりなく進行してゆきました。

やがて、人員、服装、機械器具の通常点検が行なわれ続いて小型動力ポンプ、四輪自動車ポンプの操作が行なわれ各分団とも日頃の訓練の成果を余すところなく披露してくれました。また、昨年七月に山武中学校で行なわれた、郡の操作大会に出場した本部分団第一部(上塚)と十一分団第一部(木戸倉)による模範操作の特別演技が披露され、更に消防署職員の、救急車と消防ポンプ車による模範操作が披露されました。その後小隊教練、分列行進等が行なわれ、有時に際して万全の備えのあることが遺憾なく披れさせられました。続いて彰状の授与、来賓の祝辞などがあって式を閉じました。

受章者芳名は次のとおり

- 千葉県知事功労章 五木田 誠
- 千葉県知事精勤章 越川 武彦
- 第六分団長 鈴木 泰治
- 第十四分団長 若梅 健司
- 第五分団長 勝又 和徳
- 第八分団長 加瀬 利定
- 第十一分団長 早川 利雄
- 第二分団長 早川 利雄
- 第四分団長 早川 利雄
- 第七分団長 早川 利雄
- 千葉県消防協会長功労章 川島 幸

第一分団長	大木 治男
千葉県消防協会長精勤章	萩原 敏
第十分団長	萩原 敏
第四分団一部	川島 徳夫
第七分団一部	越川 泰助
第十四分団一部	勝田 総光
第一分団一部	小川 友一
第六分団三部	秋山 嵩雄
第十一分団一部	佐久間正雄
山武支庁長表彰	伊藤 進一
第九分団長	富 睦
第十二分団長	池田 貞司
第一分団二部	若梅 守
第五分団二部	神保 誠
第十一分団一部	伊藤 彰三
第三分団二部	鈴木 平
第九分団二部	波辺 操
第十二分団二部	波辺 操
消防協会山武支部長功労章	斎藤 実
第六分団一部	太田 康雄
本部分団三部	海保 恵一
本部分団一部	古谷 武雄
消防協会山武支部長精勤章	早川 孝
第二分団一部	秋葉昭之助
第一分団一部	秋葉 精一
第十分団一部	伊庭 勝美
第十四分団三部	佐瀬 栄
本部分団一部	勝又 英明
第八分団一部	勝又 英明
第十三分団三部	五木田 実
町長表彰(無火災表彰)	十年 第六分団一部
町長表彰(無火災表彰)	十五年 第六分団二部
町長感謝状(施設協力者)	栗山 鈴木 貞治
栗山 鈴木 貞治	椎名 新治
鳥喰沼 古市嘉四郎	伊東 幸
新島新田 伊東 幸	
町消防団長表彰(優良分団)	
第三分団一部	
第十分団一部	



- 第十一分団一部 町消防団長特別功労章 伊藤 秀一
- 本部分団一部 川島 仁一
- 第四分団一部 高壁 和
- 第六分団三部 内田 清治
- 第八分団一部 秋元 清治
- 第十二分団一部 宇都木信吾
- 本部分団一部 加瀬 勇生
- 第五分団一部 向後 隆敏
- 第七分団一部 普沢 晃光
- 第十四分団一部 伊藤 勝
- 町消防団長感謝状 (内助の功)
- 第十三分団長夫人 五木田菊江
- 消防活動協力者 東町 宇井定夫
- 東町 高橋金秋
- 東町 藤城頭義
- 町消防団長功労章 磯野豊一
- 第一分団一部 ほか二十七名

# 議会だより

昭和四十六年最終の定例議会は、歳末もおし寄せられた十二月二十三日に招集されました。

当日は一般質問として、学校施設対策、公害対策、道路対策、福祉対策、房総専水路対策、国民保養センターの運営、消防貯水槽問題等々、町政の各部門にわたっての質疑応答が行なわれました。

つづいて議案四件、認定四件が提案され、慎重審議の結果、各案件ともにそれぞれ可決されました。

議件は次のとおりでした。

▼議案第一号 財産の取得について、(昭和四十七年度において山武郡市広域行政組合により改築が予定されている老人ホームの敷地として、坂田池字溜池の土地九、六二〇平方米を三千二百六十八万八千円で取得するため議会の議決を求めるもの)

▼議案第二号 千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定について、

▼議案第三号 千葉県旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約の一部を改正する規約制定について、

▼議案第四号 昭和四十六年度横芝町一般会計補正予算議定について、(才入才出ともに二千三百五十九万三千円を追

加し、予算総額を五億四千四百七十七万三千円とするもの)

▼議案第五号 昭和四十六年度横芝町有線放送電話特別会計補正予算議定について、(才入才出ともに六十一万四千四百円とするもの)

▼認定第一号 昭和四十五年度横芝町一般会計決算認定について、(昭和四十五年度一般会計の才入五億一千五百三十三万四千二百六十三円、才出四億八千三百二十二万一千六百七十一円、差引残高三千九百九十二万五千九百九十二円の決算について議会の認定を求めるもの)

▼認定第二号 昭和四十五年度横芝町国民健康保険特別会計決算認定について、(昭和四十五年国民健康保険特別会計の才入一億五千二百二十二万四千三百二十七円、才出九千九百九十六万七千三百七十八円、差引残高一千三百二十五万六千九百四十九円の決算について議会の認定を求めるもの)

▼認定第三号 昭和四十五年度横芝町有線放送電話特別会計決算認定について、(昭和四十五年有線放送電話特別会計の才入一千四百七十五万八千一百一十円、才出一千二百三十二万六千七百四十二円、差引残高二百四十三万一千三百六十九円の決算について議

会の認定を求めるもの)

▼認定第四号 昭和四十五年度横芝町老人ホーム特別会計決算認定について、(昭和四十五年老人ホーム特別会計の才入一千五百七十六万六千五百七十七円、才出一千五百七十七万二千二百円、差引残高六十九万四千五百五十七円の決算について議会の認定を求めるもの)

▼議案第一号 工事請負契約の締結について、(栗山地先に建設する町営住宅二十戸の工事を千八百三十五万円をもって、株式会社畔蒜工務店と契約するに議会の議決

を求めもの)

▼議案第二号、財産の取得について、(公共用建設敷地として、横芝大島地先の土地一三、八四四平方米を二千百万円で取得するため議会の議決を求めもの)

▼議案第三号 昭和四十六年度一般会計補正予算議定について、(才入才出ともに三千七百八十万円を追加し、予算総額を五億一千七百八十八万八千円とするもので、支出は土地取得費と用地造成費を計上したものである。)

を求めもの)

## 臨時議会

○昭和四十六年十一月四日

▼議案第一号 工事請負契約

の締結について、(栗山地先に建設する町営住宅二十戸の工事を千八百三十五万円をもって、株式会社畔蒜工務店と契約するに議会の議決

## 成人式明治神宮で

### 二二二名が大人の仲間入

一月十五日の成人の日、一人前になったことを自覚し、これからの人生を自らの力で生きぬこうと、出発点にたった青年たちを祝いはげます日として、日本各地でいろいろな行事や式典が催されました。本町もひと足早い一月十四日に例年どおり明治神宮で成人式典を挙行いたしました。

今年の成人者は二二二名でそのうち一〇〇名の方がこの式典に参加され、当日は、午前六時に教育委員会用意した三台のバスに分乗し、一路東京へ向けて出発しました。午前十時明治神宮に到着した一行は昇殿参拝のあと、町長、議会副議長、その他先輩の方々からお祝いのことばをいた

だき、成人としての認識を新たにしたことでしょう。これに対して成人者を代表して町原の伊東雅毅さんが誓いのことばを力強く読みあげ、最後に東町の伊藤フミ子さんが

お礼のことばをのべて式は終了しました。その後、記念写真を撮って東芝科学館を見学懇親会場である船橋ヘルセンターへと向いました。

## 春の火災予防運動

### 統一標語

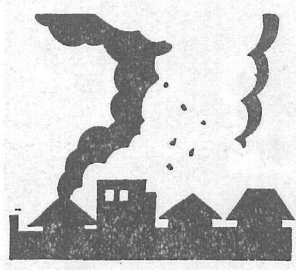
「火を使う人なら

できる火の始末」

今年も二月二十九日から三月十三日まで「春季全国火災予防運動」を実施いたします。昔から火災の多くは冬の十二月から春先の三月頃にかけて多いと云われ、消防庁の統計をみても、毎年この季節が火災の最も多いことがわかります。丁度この季節は雨量も少なく、空気が乾燥し、暖房器具の使用も多いことから火災が起りやすくなるのです。

消防庁では、毎年声を大にして火災の防止を呼びかけておりますが、皮肉にも新聞紙上では毎日のように一家焼出の

- 家庭における火災危険の認識
- 火気使用器具の正しい使い方と点検整備
- パケツーパーイの水のくみ置き
- たばこの投げ捨てと寝たばこの防止
- 外出時、就寝前の火の元点検



昭和46年月別利用状況

月	利用回数	利用人員
1	29回	554人
2	73	1,950
3	86	2,088
4	66	1,296
5	50	1,246
6	67	2,148
7	66	1,392
8	53	1,029
9	52	1,017
10	102	2,397
11	82	2,581
12	57	1,464
計	783	19,162
一日平均	2.6回	65人

中央公民館の利用者

一年間で約二万人



昨年一月から十二月までに中央公民館を利用した人は、一九、一〇〇人でした。これは横芝町全部の住民が一回半づつ利用したことになります。利用の状況を調べてみますと公民館の主催事業に参加された人が二六五回の開催で七、〇〇〇人と一番多く、つぎが役場、その他の会議、講習会等の利用が多く一八一回で五、七〇〇人の利用でした。また、最近では詩吟や民謡、生花などの趣味の研修グループの利用が多くなって来ており、二二五回の集合で二、六〇〇人の利用者がありました。そのほか、団体または個人的な利用で三、八〇〇人となっております。このように非常に多くの方々にご利用いただきましたがこれからも、公民館ではみんなに親しまれる公民館となるように努力をしておりますので、どうぞ気兼ねなくご利用をお願いいたします。なお、月別の利用状況は別表のとおりです。

公民館の二月学級は次の日程により開催いたします。

学級名	日 時	学 習 内 容
婦人学級	2月8日 午後1時30分から	「着物の着付」 着物を美しく着るための知識と技術を学びましょう。
子供会 リーダー 教室	2月13日 午前9時から	「わが郷土を知る」 ハイキングを兼ねて坂田城跡をたずねてわが町の歴史を学びましょう。
家庭教育 学 級	2月17日 午後1時30分から	「これからの家庭教育」 これからの家庭生活と家庭教育のあり方について考えてみましょう。
高令者 学 級	2月18日 午後1時30分から	「花づくりを楽しむために」 四季の花を楽しむために、草花、花木のつくり方と花だんのつくり方を学びましょう。

二十歳の誓い

成人文集 荒波から

内面的な大人に

伊藤正幸

二十になって知ったことそれは、世の中の矛盾、そして、大人のきたなさである。まだ十代であった学生ころこんな世界とは知らず、ただ

表面だけの大人にあこがれていた自分である。そのころの自分がなつかしいし、また、考え方がきれいだったし、夢も希望もあったような気がする。ところが、いざ、大人の住んでいる社会へ顔を出してみると、金さえあれば何でもできるし、また法律さえも裏

通りというものがあることを知った。これを世の中の矛盾といわずに、何とこの世の何と、政治の貧困といふのか、何とこの世の何と、わかれが学校の先生に教わったこととは、まるで違うではないか、ひねくれたような考え方が、バカ正直に世の中を渡したら、大損をするような気がする。現に、この生存競争の激しい世の中では、義侠心とか、人情とか、そんなものは不必要な気がする。まさに食うか食われるかだ、そんな世の中に、生きていく自信さえなくなったこともあった。でも、一旦、この世の中に生を受けた以上、男として生まれてきた以上この荒波を乗り越えていかねばならない。外面的な大人よりも、もっと内面的な大人になりたいと思う。これが、自分が二十才になって、日ごろ感じている実感であり抱負である。

平山道代

「にげる」をすてる

二十才を迎えた日から「責任」というどっしりと重い荷物を持たされた。まだ、土台のできていない身体だけにその荷物は、見た目より非常に重い。ホラ、こんなに足がふらついている。重みに耐えながら、これではいかんと考え直す。一からやり直そう。そう感じた日から、私のほんとうの人生が展開された。ああもした、こうもしたい。い

ろいろ、自分なりの夢を抱く、そして、夢で終らせまいと四方八方研究する。どうもがいても、一人ではできないこともある。が、努力だけでは他人の力ではどうにもならない。体力の限界はあるが、努力するということの限界はないと思う。だから夢が実現するまで、精いっぱい努力をそそぎこもうと決意する。ところで、もう一度「成人」ということを改めて考えてみる文字どおり「成人」とは、「成り立った人間」のことを指摘していると思ふ。そう考えると、この世に真の成人を見つづけることは、大変困難である。つまり、すべての人が、成人をよそおった未完成人間にすぎないからである。未完成人間が、完成された人間に一步でも近づこうと努力している。こういう人を私は成人と呼びたい。だから、成人式を迎える今、いろいろな経験をへて完成された人間に少しでも早く近づきたいと思う。世の中のさまざまな出来事に対してできる人間になり「にげる」ということばをすてさり、どんな難題にも面と向って行けるような責任ある人になりたい。そして、くいのない新しい人生を送りたい。

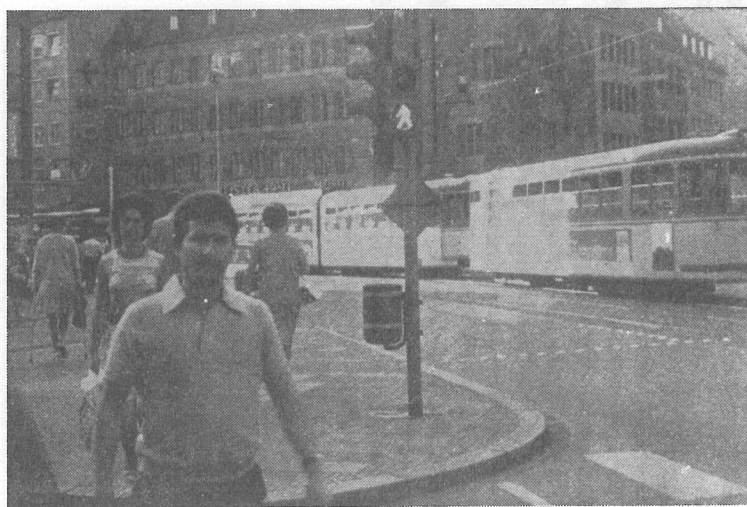
編注 この作品については、特に横芝町青年団が、今年成人式を迎えられた皆様を祝福し成人文集を発行したもので、その中から紙面の都合で二名の方の作品を原文のまま掲載させていただきました。

# ドイツ視察記 (最終回)

伊藤 一男

## ベルリンの日曜日

ホテルで食事をすませ再び街へ出る。クーダムは市内随一の繁華街で、商店やレストランが並びショー・ケースは照明で輝いていた。買物をし



西ベルリン市内

ながら歩く。疲れるとカフェで休む。木苺のジュースが入った白ビールが最高で、通訳の珠実やヒリップなど相当にいける。ヨーロッパセンターの二階に「TOKYO」という日本料理店がある。十時、この店によった。提灯・浮世

ながら歩く。疲れるとカフェで休む。木苺のジュースが入った白ビールが最高で、通訳の珠実やヒリップなど相当にいける。ヨーロッパセンターの二階に「TOKYO」という日本料理店がある。十時、この店によった。提灯・浮世

絵・絹の座ぶとんなど日本調の店内は満員である。スキ焼と油の匂いがなつかしい。客の大半はアメリカ人らしい。一人三十DMの予算で天ぷら定食とお茶漬、味噌汁をとる(大体、日本で五百円位の内容だった)

ベルリンの夜は新宿に似ている。午前零時だというのに雑踏が絶えない。やはり若者が多く、殊に女性の軽装にはおどろく。住宅街にでると、栗の並木が続き、どこまでも歩道が水銀灯に灰白くぬれていった。日曜日のベルリンは静かだ。九時、おそい朝食をとって街へ出る。店の殆んどが日曜休業で、人も車もあまり見えない。ただ公園には人々が集っている。中央街の小さな公園にゆくと、円形のベンチには老人が多い。鳩や雀が足もとまでやってくる。パン屑を投げるとチツと奪い合うように食べる。庭のない生活なので、皆んな小鳥や花壇を大切にしているのだ。老人のそばには子供たちが遊んでいる。大都会の谷間の「小さな平和」である。午後になる

く人々がいるのだ。だが、自由と平和を願う人々は、いつかきつと勝利するであろう。

## 国旗に泣いた

日曜の午後十時、テンベルホフ空港からフランクフルトへ向った。ルフトハンザ航空の待合室で一夜を明かし、ワインでお別れの乾杯をして、一路「祖国」へと飛びたった。三十日に及ぶドイツ生活で学んだ多くのことを大切にしたい。何よりも日本を大事にしたい。あの国境で噛みしめた

「自由」と「人間」のことを忘れまい。「東京の温度は三十一度、湿度は七十二%」の機内アナウンスに、どよめきが起る。一ヶ月ぶりで踏む祖国。日本の大地だ。機の外に出るとワァーンと蒸し暑さが迫ってくる。バスに乗って税関に向う。ターミナルの屋上に国旗をみつけた時、ジュリーと「日の丸」の赤が瞳いっぱいに拡がった。「日本へ帰ってきたのだ」こみあげてくる涙を耐えながら、重い靴を持ち直して、力をこめて歩いた。

# 駅伝大会を開催

## 中二に好記録出る

恒例となった横芝町駅伝大会は、快晴に恵まれた一月十二日、横芝中学校を会場に行なわれました。

この大会は、横芝町体育協会の主催によるもので、小学生、中学生、一般の三クラスで開催される予定でしたが、今年度は、一般の部の参加チームがなかったため、小学生と中学の部で大会が行なわれました。小学生の部の参加チームは、各校とも六年男子で大総小一チーム、軽芝小三チーム、上塚小から二チームが参加して六チームで競技が行なわれました。コースは、横芝中学校をスタートし大総小学校前を通り、中台十字路を

左折し桜前、長倉を回って再び横芝中学校にゴールする、全長一三、二〇〇メートルでした。このコースには十一の中継地点があり、この区間を第一、第二、第三走者と引継ぎ走ります。また、このコースには心臓破りの丘にも匹敵する坂道が第三区間にあります。横中校庭を一群となりて出発した各チームの第一走者も坂田池附近にさしかかると強風のためトップランナーと最後尾とは相当距離がひらき始めました。

一方、第四地点の大総小学校前には心臓破りの丘(振子坂)を登って来る豆ランナー

学年	順位	記録
小学校の部	一位	横小 五八分〇〇秒
	二位	横小 五九分四〇秒
	三位	上小 五九分五七秒
中学校の部	一位	一年生 五二分三六秒
	二位	一年生 五五分〇五秒
	三位	一年生 五五分三六秒
	一位	二年生 五一分三〇秒
	二位	二年生 五一分四〇秒
三年生	一位	三年生 五三分一〇秒
	二位	三年生 五三分五〇秒
	三位	三年生 五四分一三秒

# 十年一昔 (その二十五)

## 旧大総中学校界限

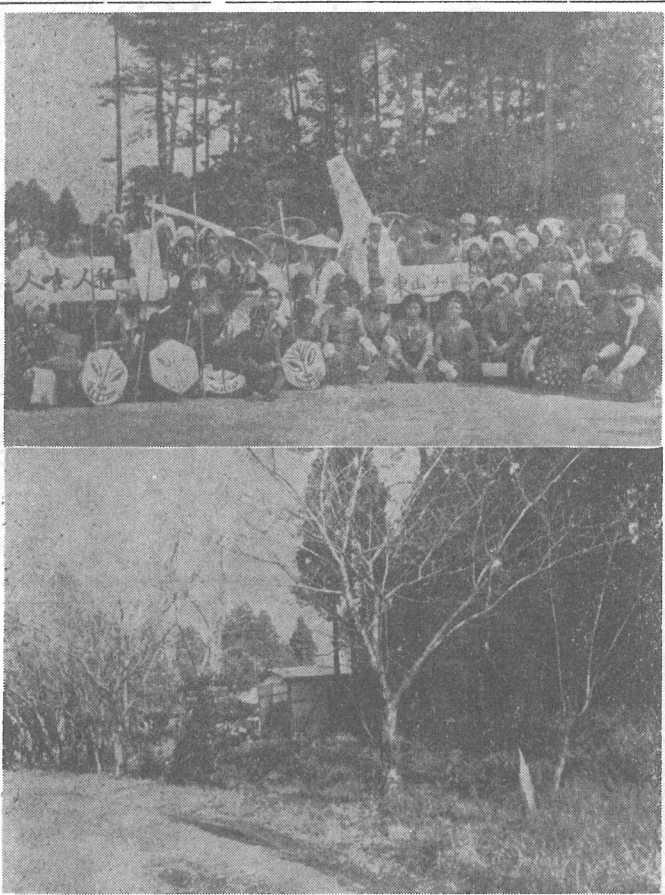
給食センター 小沢所長寄稿

町村合併後の数年は横芝町の青年活動が一番活潑な時期でした。特に、大総地区では四日クラブを中心にしてレクリエーションと家庭の生産活動を結びつけた団体活動が旺盛でした。何時か本紙で契約栽培の走りと言って紹介したことがあります。父兄から一畝か二畝の耕作権をもらって行なうクラブ活動も擡頭し始めていた頃です。その頃の青年はよく中学校に出かけて当直の先生等を囲んで雑談に花を咲かせたりしていました。先生方も心よく迎え入れてよい話相手になっていたようです。こうした場面は町の青年というよりは、中学校のOBが母校を訪問するといった姿でした。そんな風でしたから運動会等には、卒先して学校に協力し準備を手伝ったり、自分達もプログラムに組入れてもらって参加するということも多かったのです。

まだ町村合併後間もなかったで、従来の慣習が残っていて秋季運動会は大総中と大総小が合同で開催し消防の人や婦人会も一緒になって楽しんでたものです。この運動会で

青年が行なう仮装行列は、老席に招待した人を始め一般の参観者や小中学校の子供さん的人气までもさらってしまふ程でした。青年の人達もまたこれに応えようと地区毎に極秘の趣向をこらしてその日を持ったのでう。

其後、昭和三十六年に事実上の中学校統合が行なわれて先生も生徒も新校舎に移ってしまいました。それでも主の居ない校庭の辺りには何となく集ってくる青年の姿が見えました。しかし、この敷地が建物と一緒に町の手を離れたという話を聞いた頃からは遠慮もあるのでしょうか何時か足を向ける青年も減り、私達の学舎の感も薄らいできたようです。学び家といえは一年に入學すると必ず入った裏門寄の校舎(この校舎は元青年学校の教室であったのを昼夜がかりで県道伝いに家ひきをして移したものです)も、音楽室を兼ねた講堂も取払われてその跡は野菜畑になってしまいました。唯、一棟だけ残った校舎の窓の白いカーテンが僅か当時を忍ばせていま



◎写真上は昭和三十二年頃の秋季運動会仮装行列の記念撮影です。この取材中「まあ暫らくですわ」と声をかけられ「振向くと元婦人会役員であったK婦人でした。広報取材の旨を話しながらこの写真を示しますと「仮装大会ですね、家にもありますよ。この軍服は〇〇の仁ちゃん、土人みたいなのは〇〇の茂さん、ほらこのマフラをかむった人は〇〇の勇さんですよ。大川橋でね。まあまあ家の伴が女の子の格好なんかして」とひと

しきり写真の説明をしてくれました。丁度その時いま一人の婦人が通りかかったので二人に「随分変わったでしょうね」とたずねると「変りましたね、ほらこの桜も写真には写っていないでしょう。また一メートル位でしたからね。堤にも今はお茶の木が植えてあります昔はつつじが植えてあったんです。あの頃は卒業生がよく記念に庭木を植えましたから殊によると桜やつつじも卒業生の寄附だったかも知れませんよ。それから話は古くなりますがこの校舎を建てたが釘等が不足で地元出身の東京の業者を頼って雑のうを背負って仕入れに出かけたものです」と当時のエピソード等を交る話してくれました。

### 横芝町職員

#### (有線放送員)募集

採用 四月一日  
採用予定人員 若干名  
受験資格

1 昭和二十二年四月二日から昭和二十九年四月一日までに生れた女子で日本国籍を有する者  
2 地方公務員法第十六条に定められた欠格事項に該当しない者

受験申込票の請求先及び提出先  
横芝町役場総務課  
受験申込締切期日  
昭和四十七年二月末日

試験日 追って申込者に通知する  
その他、詳細については役場総務課まで、お問合せ下さい。

### 高校通信

#### 教育生を募集 (千葉東校)

自宅で勉強し、月二回日曜日に登校、四年間の学習で全日制、定時制と全く同じ高校卒の資格が得られます。決して楽な道ではありませんが、自由な時間に勉強ができ、マイペースで学習を進めることができるのは通信教育の利点です。

願書受付 三月十日から四月九日(本人が持参)

詳細は県立千葉東高校通信制課程、TEL 0472(51)9223へ、

# 成人と国民年金

## 今から老後の生活設計を

成人式を迎えられたみなさんおめでとうございませう。さ  
てみなさんは、これから法律  
的にも社会的にも一人前の大  
人としての扱いを受け、多く  
の権利が与えられ、義務が課  
せられます。国民年金に加入  
することもその義務の一つで  
す。国民年金は政府が行なう  
年金制度の一つで、年をとっ  
たり、ケガをしたり、一家の  
働き手が死亡したりしたとき  
に本人やその家族の生活を保  
障してくれる制度です。これ  
らの事故に備えて、加入者金  
員が前もって保険料を積み立  
て、さらに国も保険料の半額  
を負担してこれらの給付の財

源としていきます。わが国には  
国民年金をはじめ、厚生年金  
など各種の公的年金制度が八  
つあって、国民は必ずどれか  
の年金制度に加入する建前と  
なっております。ですから厚  
生年金など、他の公的年金制  
度の加入者、これらの人の配  
偶者、大学生等を除いた二十  
才から五十九才までの人達は  
必ず国民年金に加入しなければ  
なりません。年金といっ  
ても遠い将来のことだからとい  
って真剣に考えようとしな  
い傾向もありますが、近頃の国  
民生活の状況をもみても私達日  
本人の寿命が驚くほどのびて  
おり、また核家族化、扶養意

識の変化などを考え合わせる  
と、老後の生活設計は青年期  
から始めておかなければなり  
ません。また将来の老令年金  
のためばかりでなく、最近の  
ようなあわただしい生活の中  
では、いつどんな事故があ  
うかわかりません。事故が起  
きからでは間にあいません。  
このような突然の事故にあっ  
ても、国民年金に加入してお  
れば障害年金や母子年金など  
をうけることによって、安定  
した生活ができるのです。  
ことし成人になられた方でま  
だ手続きをしていない人は、  
今すぐに加入の手続きをし  
てください。

# 建設のあゆみ

1 月 ~ 2 月

### 完成たし事業

- ①道路舗装工事
  - 於幾曾根合地先 764 m
  - 牛熊地先 970 m
  - 鳥喰沼地先 984 m
- ②道路改良工事
  - 谷合地先 308 m
- ③排水整備
  - 木戸台地先 68 m
- ④牛熊青年館 99.98m<sup>2</sup>

### 2 月着工及び工事中の事業

- ①上塚小学校改築工事 1,150m<sup>2</sup>
- ②町営住宅建設工事 20戸

## 住宅20戸完成迫る 入居者を募集

昨年十一月から栗山地先に  
建設をはじめた町営住宅が三  
月末には完成の見込み  
となりました。この住  
宅は簡易耐火構造、平  
家建ての二種住宅、建  
坪三四平方米(約十坪)  
間取りは、六畳二間、  
ダイニングキッチン付  
きです。町では、この  
住宅の入居希望者が二  
月五日から二月二十五  
日にかけて募集してお  
ります。入居資格その  
他については、次のと  
おりです。

- 一、現に同居しまた  
は同居しようとする  
親族(婚姻の届出をしない  
が事実上婚姻関係と同様の  
にお問ひ合わせ下さい。
- 二、収入基準、二万七  
千円以下(扶養親族  
一人につき五千円を  
加算)
- 三、現に住宅に困窮し  
ていることが明らか  
なもの
- 四、原則として町内に  
居住又は勤務場所を  
有するもの
- 五、募集戸数：二十戸
- 六、入居予定：四月中
- 七、選考方法：資格審  
査、抽せんによる、  
くわしくは役場開発課  
にお問ひ合わせ下さい。

事情にある者、その他婚姻  
の予約を含む)があるこ  
と。

## 税の申告と納税

切は三月十五日まで

昭和四十六年分の所得税の  
確定申告と納税は、二月十六  
日から三月十五日までの間で  
すが、期限の十五日近くなり  
ますと窓口が非常に混雑いた  
しますから申告と納税を早め  
にすませてください。

◎三税の申告と納税の相談  
所得税、事業税、住民税の  
申告書提出と納付の便宜を  
図るために、次の日程により  
納税相談を行ないますから

### 固定資産課税台帳

#### の縦覧について

一月一日現在で調整した昭  
和四十六年度固定資産税の賦  
課のもとになる固定資産課税  
台帳を、地方税法の規定によ  
り縦覧に供しますので、希望  
者は閲覧されますようお知  
せします。

### 池田氏に紺綬褒章

広報第八十二号でお知らせ  
しましたが、横芝中学校にプ  
ラスバンド用楽器購入費とし  
て百数十万円の寄付をされた  
池田忠美氏(千葉窯業社長)  
に、国から、昨年十二月十八  
日付けで紺綬褒章が送られま  
した。

### 表彰

去る十二月二十二日、大網  
白里町中央公民館で開催され  
た第十六回山武地方社会教育  
振興大会で、当横芝町から吉  
岡秀子氏(本町)が社会教育  
に努力された功績により、山  
武都市社会教育連絡協議会長

## 横芝俳壇

### 横芝句会一月例会

土屋栗水  
曲りつつ流れる川の初明り  
石川奇水  
魚店の開け放しなる寒さかな  
田島千女  
初羽根の上むく顔の酔を増し  
若梅あやめ  
九十九里今暗やぶれ大初日  
藤代ゆう  
新婚の報らせもまじる賀状か  
な  
高登孝子  
陽の香りうすれし今日の寒さ  
かな  
木下石果子  
琴の娘に障子の外は羽根日和  
佐久間美枝子  
群衆の一瞬声呑む大初日  
古谷紅雲  
初日背に大吉の神幾結びけり  
句城  
大溝の初日に染まり膨れけり  
次回 二月十二日  
兼題 梅、田打、道六句